



8月6日、蒲郡マリンカップレース
第3スタート、揃いました。

目 次	行 事 予 定
表紙 蒲郡マリンカップレース	
P 2 総合優勝ケーニッヒ、キャロル	8月27日 デニスコナーカップヨットレース
P 3 マリンカップ写真報告	ラグナマリーナカップヨットレース
P 4 マリンカップ成績表	兼MCC8月ポイント
P 5 三河湾周航レース アルミス	9月17日 理事長杯ヨットレース
P 6 三河湾周航レース 一言コメント	兼MCC9月ポイントレース
P 7 全日本ミドルボート スパ-ウェブ	兼9月スモールレース

Rクラス総合優勝 ケーニツヒ

久しぶりの優勝となりました！それも 赤・R2・そして全艇総合優勝ですよ。やっぱり嬉しい！です。スタート良し、マーク確認＝オーこのまま一直線でコース良し、何となく船は進んでる・・・よしよし良し！

でも、マークの確認が終わった後ぐらいから、私は孤独の狭い所に押し込められ、周りの状況も分からず、時々、セールにお仕置きをくらい頭ペチペチされながら、皆の会話に入れず小さくなりながら耐えていた。

そしたら、トップで頑張っていたキャロルさん 12 時の壁を越えられず(感謝！)そのまま短縮フィニッシュ！知らない間にフィニッシュした。フィニッシュした感も味わってない。でも、よかったよかった。折り返したら、レースは楽しいけど……その後が。ねっ。

えーなぜ優勝できたかって

それは、3 番目スタートの人達しか知らないスタートの出来事から始まって。

皆分かっているから、そのままスタートでも良かったのに、風が落ちる方向だし、その後の BBQ が遅くなる！！

そう、すべては BBQ の為！ クルーの BBQ に 対する念が強まった。どうですか、この結束力。

以上 喜びの声でした。



Cクラス総合優勝 キャロル

迷走で長寿な台風5号の影響でどのような天候になるのか前日からやきもきしていましたがレース当日の天候は晴れ、微風のコンディション、白谷からの回航ではマークとなるブイの位置確認を行いながら三谷漁港へ回航を行いました。

スタートは本部船よりのリミットマークを考えていましたが他のレース艇が集まっており小型艇はブランケットされそうなのでアウターマークから。やや遅れてスタート。

クルーは風下側で動かないようじっと我慢、どの海面も風がない。

スタート後しばらくして弥栄がやや落とし気味で上から抜いて行く、我々は上りめ一杯で我慢。タックを行い大島よりのコースを取りたい気持ちがはやるが微風では何度もタックをするのはロスにつながることでみな意見が一致。(前回は大島よりで風が有った)

モーターボートが前方を通ると、引き波でヨットがあらぬ方向に、前を走るのはやめると願うばかり。第一マーク通過後、進行方向にジェットスキーを停めてチューブで遊んでいるお兄さんたちが！このままだとタックをしなくてはいけない。無理を言ってコースを空けてもらいそのまますすめる。(いい人たちだ)

2回のタックで上マーク(帆走区域灯標)回航のプロパーコースに入る、しめた弥栄より先行している。マーク回航後、弥栄さんの大きいスピンであつという間に抜かれるけど諦めずに頑張ろうと。スピンはスタボー、ジャイブセット？

上マークのマーク船から旗が見える、S旗？単音2声もしかしてコース短縮マークに近づくと間違いない、しめた着順1位と優勝かも。フィニッシュが近づいてくる、思いのほか潮に押されてマーク近づいていく、早くフィニッシュホーンを聞きたい、ギリギリでマーク通過、フィニッシュホーンを聞く。やった、着順1位で優勝？表彰式でCクラス優勝を告げられる、キャロル2連覇だ。

最後に、蒲郡マリンカップを運営されましたMCCの皆様有難うございました。



MCC海のたよ8月号・MCC海のたよ8月号・MCC海のたよ8月号



第19回蒲郡マリンカップ

超微風の中3Gに分かれてのスタート
 コース短縮してレースは成立しました。
 ブーメランの5連勝はならずケーニッヒが
 優勝。クルーザークラスはキャロルが連覇。
 今回は外洋東海のクルーザーミーティングも
 併催。3クラスのブービー賞がありました。
 特別賞のロープ200mはベベが獲得です。
 各社協賛品も多くいただき。じゃんけん大会も
 子供、女性、一般に分け開催。豪華参加賞、
 盛り上がるバーベキューで楽しめました。



レース名 第19回蒲郡マリンカップ

日時 2016年8月6日 (日)

コース 三谷(スタート)-小島(東)-帆走区域灯標-小島(東)-三谷(フィニッシュ)

クラス C1 (青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0														
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒	秒	秒	C1	青総合	C1	青総合	C総合	全艇
キャル	4177	C1	YAM23	755.0	.8440	12	06	21	3981	3360	1	1	1	1	1	8
あや	375	C1	YAM21R&CPI	770.0	.8280	12	15	20	4520	3743	3	3	2	2	2	10
弥栄	6764	C1	Aiolos 26	690.0	.9240	12	07	41	4061	3752	2	2	3	3	3	11
クラス C2 (青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0														
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒	秒	秒	C2	青総合	C2	青総合	C総合	全艇
百恵	-	C2	YAM31EX	710.0	.8970	12	27	26	5246	4706	1	4	1	4	7	17
はやぶさ2	-	C2	YAM30C	730.0	.8730				DNF		2	5	2	5	9	19
クラス C3 (緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0														
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒	秒	秒	C3	緑総合	C3	緑総合	C総合	全艇
さつき	5277	C3	Baltic 35	675.0	.9440	12	17	38	4058	3831	1	3	1	2	4	12
アクティブ	3605	C3	YAM30CII	700.0	.9100	12	23	32	4412	4015	2	5	2	5	5	15
パントラ	101	C2	Ventdefete	710.0	.8970	12	29	0	4740	4252	3	6	3	6	6	16
ファルコン7	6612	C3	Yokoyama29	700.0	.9100	12	50	32	6032	5489	4	7	4	7	8	18
クラス R1 (緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0														
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒	秒	秒	R1	緑総合	R1	緑総合	R総合	全艇
ハハⅢ	4825	R1	PION9 F&PB	700.0	.9100	12	11	56	3716	3382	1	1	1	1	8	9
カメヲ3	4639	R1	SWING31	660.0	.9650	12	17	19	4039	3898	2	2	2	3	9	13
うらなみIX	5404	R1	J/92	655.0	.9730	12	18	08	4088	3978	3	4	3	4	10	14
クラス R2 (赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 26 0														
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒	秒	秒	R2	赤総合	R2	赤総合	R総合	全艇
フェイスナット6	5157	R2	YAM30SN	650.0	.9800	12	14	31	2911	2853	1	3	1	3	3	3
ブーメラン KY	4825	R2	J/24	710.0	.8970	12	19	05	3185	2857	3	6	2	4	4	4
ブラッシャー	4087	R2	J/24	715.0	.8910	12	19	45	3225	2873	4	7	3	5	5	5
ブーメラン	5131	R2	J/92	650.0	.9800	12	16	20	3020	2960	2	4	4	6	6	6
クラス R3 (赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 26 0														
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒	秒	秒	R3	赤総合	R3	赤総合	R総合	全艇
ケーニヒ	5650	R3	J/V9.6CR	630.0	1.0110	12	11	55	2755	2785	1	1	1	1	1	1
アルミス5	4774	R3	J/V9.6CR	630.0	1.0110	12	12	35	2795	2826	2	2	2	2	2	2
オデッセイ	3173	R3	SEAM 31 II	630.0	1.0110	12	16	32	3032	3065	3	5	3	7	7	7
エルドラードVI	5563	R3	YAM40RK	615.0	1.0360				DNC		4	8	4	8	11	20



MCC海のたより8月号・MCC海のたより8月号・MCC海のたより8月号

7月ナイト、三河湾周航レース

アルミス 佐々木

昨年に引き続き、今年も本レースがコミッティ担当、去年は艇長会議直前まで忘れていたが、今年はしっかり覚えていた。ハーバーに行ったら、アルミスだけだったということが無いように中村さんに確認、少なくともホーネットとダンシングビーンズは参加の予定とのことだった。21時少し前、旧県ヨットハーバーへ到着、三谷町内の夏祭りらしく、三谷漁港から花火を上げていた。間近で上がっているのかかなりの迫力、皆、スマホで撮影しようとするが、シャッタータイミングが合わせられず、苦労して撮っていた。昨年と同レース、先月は3人での参加、今回アルミスは久しぶりに5名集まることができた。参加数が3艇ということで、自主スタートにしようということになり、10分後スタートもなくなり、23時に一斉のスタートとなった。

スタートから豊橋の観測ブイまでは、南東の風を受けての片上り。スタートラインをスターボで流して、スタート時間直前でタック、ポートタックでコースに向けてスタートラインを切った。航路ブイの点滅、対岸の街路灯、停泊している本線など多くの灯が見えるが、たぶんあれが目標の観測ブイの光だろうと目標を決めて、走ることに。ダンシングビーンズに先行されたが、途中滑りもよく、観測ブイを先行して回ることができた。先行すると言っても、ダンシングビーンズ、ホーネットとの差は、数艇身。回航後のスピニングアップで少し手間取りダンシングビーンズが先行。ホーネットは南に落としたコースに。

ほぼ新月で、闇夜のレースかと思っていたが、雲も少なく星と、岸の灯で明るい。流れ星もいくつか見ることができた。生田鼻のブイの灯も見えたり、岸の赤信号の点滅だったりと紛らわしかったが、コンパスの角度に合わせて走らせた。生田鼻ではダンシングビーンズ、ホーネット、アルミスの順で回航、ベアして一色ブイに向ける。1分半ぐらいの遅れ。一色ブイまでジャイブ無しでいけるかと思ったが、途中でジャイブ。一色ブイまでにジェノアを上げスピンドウン、ブイでベア→ジャイブ、で角石灯台に向ける。先行2艇との差は縮まらず。

角石灯台に向けて、先行のダンシングビーンズはやや落とし気味で、ホーネットはほぼ灯台に向けてのコース、ホーネットに続くコースで走らせる。ここでも艇がよく滑ってくれ、灯台の手前でホーネットを抜くことができた。角石灯台を越えたところで、篠島の南西の半島に向ける。ダンシングビーンズは風下側をやや先行している。例年篠島、師崎の漁港から出航してくる漁船の集団と出会い緊張するが、今年は少なかった印象。篠島の南西の半島を越えたところで、篠島と松島の間へコースを向ける。この時点で最短のコースを取れたことが幸いしダンシングビーンズにも先行することができた。GPSとにらめっこでコースをとり、篠島をかわし野島へ向ける。

昨年、一昨年と野島沖で風が無くなり、潮流も災いして野島から離れることに苦労したが、今年はそのようなこともなく、野島を回航できた。アルミス、ダンシングビーンズ、ホーネットの順、何も1分前後の差だったと思う。風向きもよく、豊橋観測ブイへもダイレクトで向かえそう。スピード競争になりそうな一本レグ、コースに合わせて、セールをトリムし走らせた。このれぐの滑りもよく、少しずつ差をつけられた印象。日の出前の逆光で富士山が見えることを期待していたが、少し雲が多く、残念ならが見えなかった。ブイ直前で風が変わり、2タック入れて回航。

ベアして三谷のハーバーに向ける。ここでスピニングランになると、航続艇に差を詰められ、逆転の心配もあったが、スピニングを上げられるほどに後ろにも風が回らず、ジェノアで走りきり、リードを保ってフィニッシュできた。

湿度はあったが、穏やかな安定した風の中、気持ちよく、安全にセーリングを楽しめたレースでした。

翌週はパールレース、参加するホーネット、ダンシングビーンズ、安全にレースを楽しんでください。

海陽ヨットハーバーに戻ったら、翌週からのテザー級の世界大会に向けて、AUSなどのセールナンバーの艇もあり、たいへん華やいだ雰囲気でした。



アフターパーティーは蒲郡荘でなく海陽ハーバーのクルーズインで開催。午前中に解散しました。

三河湾周航、ナイトレース。参加艇の一言コメント

アルミス 佐々木

久しぶりに5名集まったの出場。
 上りのレグでは、気持ちの良い走りができました。
 先月に続いてのファーストホームを飾れました。
 夜明けに、富士山が見えることを期待していましたが、曇り気味で、見えなかったのが残念でした。



ダンシングビーンズ 安藤



「何と、3艇だそう！嘗ては紅、紅の内側に夜空の星と見間違えるほどのマスト灯が行き交ったスタートも今日は前後に一つずつ。

コミッティーのアルミスもシーマンシップに則って定刻スタート。

豊橋までは3艇、一進一退、アルミスがトップ回航。その後、Hからスピンの猛追を受けるもDBがトップで生田を回航、何度となく上ポジションを狙われるが交わしながら一色をジャイブ、角石までは慎重に距離を取ったので、他艇に高さで劣りながら、鬼門の松島を迎える。

明るきゃあ、なんてこたあ無いけど、さすがに真っ暗は腰が引ける。ラッキーな事に上から、この辺を知り尽くした水先案内船が先導してくれる。付かず離れず、一直線で通り抜け、野島を過ぎた辺りで、タックをするとあれよあれよという間において行かれる。再び豊橋を回航する時になって、初めて先行がアルミスだと判明した。

あじゃ！じゃあ一後ろがHか？全くの勘違いだった！結局、フィニッシュまで順番が入れ替わることは無く、そのまんま。計算するまでも無く、クルーズインでお開きとなった！本当に皆さんご苦労様でした。」

ホーネット 十八日

当初3人の予定が、当日、強力な助っ人2人に来て頂きました。

豊橋潮流ブイを最後尾で回航後、フリーで直ぐにトップに立ち、普通ならこのまま引き離すと思いきや、佐久島北でダンシングに抜かれ、野島へのクロスでアルミスに抜かれてしまいました。特にアルミスとのスピード差は凄く、まるで2クラス上に抜かれるような感じです。

その後、上位との差は開くばかりでフィニッシュ。アルミスのクロスのスピードには驚かされたレースでした。



コメント
 ミドルで活躍したスーパーウェーブは欠席。ベベも微風を嫌い不参加。他も中々……
 コミッティーのアルミスとホーネット、ダンシングの3艇が集まったナイトレース。ホーネットとダンシングはパールレースの参加も予定している。
 風はそこそこ早い展開で済みそう。コミッティーも同時スタートにして始まった。
 まずはダンシングがリード、アルミス、ホーネットと続くが豊橋通過はアルミスが少しリードしダンシング続く。スピンアップ、ここで一時ホーネットがリードしたがコースの違いから下からダンシング、アルミスが先行。
 生田、一色はダンシング、ホーネット、アルミスの順で回航。トップは目まぐるしく変わる。さらに角石までのコース、ダンシングはベアーし先行。大井の手前でアルミスがホーネットを下から簡単に抜き去る。
 松島の手前ダンシングはベアーし過ぎがたたリアルミスが逆転、野島をアルミスがトップ回航、ダンシングが続く。野島でタック、スターボーで豊橋へ一直線、風が弱く長かった。アルミスの滑りが良く差は縮まらず開くばかりでした。

セール	艇名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	得点
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.010	6:11:48	1	7:11:48	7:16:07	1
5933	Dancing Beens 3	Seam 31	1.007	6:15:40	2	7:15:40	7:18:43	2
5791	Homet	Seam 31	1.009	6:20:05	3	7:20:05	7:24:03	3

航跡見られます。 <http://www.aichi-mcc.org/gps/20170723/index.html>

1cmでも前に！！ 全日本ミドルボート選手権に参加して

スーパーウェーブ・長 坂

先日の15日～17日の三日間、全日本ミドルボート選手権に参加してきました。成績は入賞こそ逃しましたが、東海勢の中ではトップの成績と言うことで今回のレポートとなりました。

この大会の前にまずメンバーの固定を考え、それも誰が突然欠けても良いようにカバーするかで練習はしっかりしました。大会前の5週間前から毎週日曜日とはとにかく練習また練習でした。

(私の個人の意見ですが恐怖の日曜日でした・笑)

今回のメンバーの中に「水越ヨット」の水越氏を招き入れ、彼のコーチのもと貴重なアドバイスをいただきました。彼のアドバイスから

① ハイアウト

ヨットはどんな艇種でも最も重要なのはハイアウトです。

「Big Hike Big Hike」を連呼する。

お尻がデッキに着いているハイアウトはハイアウトではない。

② 声掛け

もっともっと会話を多くして多くの情報が必要。

バウ、ミドル、アフターガード、お互い何をしたいかを話す必要あり。

風のシフト、ブロー、潮、他艇の動きなど。

③ 艇の動き

クルー全員が艇の動きを理解し把握しないと上手くはなりません。

テルテール、セイル形状、風見、海面 等全員が今どういった

動きをしているか把握し続ける必要がある。

まだまだありますが、今後のスーパーウェーブのレース対応のこともあり秘密です。(笑)

そして、何よりも全員が「1cmでも前に進める」の気持ちを持ち続けることが大事でしょうね。



今大会の最終成績は総合で9位、Bクラスで5位でしたが、大会2日目までは総合6位、Bクラス3位で、もしかしての気持ちがありました。そこはやはり全日本選手権甘くはありませんでした。

ヨットレースは確かにいい成績が欲しいものですが、楽しく行うことも良くわかっています。

最後に偉そうなことをいっぱい書きましたがどうぞお許し下さい



全日本ミドルボート選手権 2017



Series * R-4はディスタンスレース、得点は結果から除外できません。 愛知県蒲郡市 ラグナマリ-20

艇名	セール	艇種	R-1 Fit	R-2 Fit	R-3 Fit	R-4 Fit	R-5 Fit	R-6 Fit	R-7 Fit	合計	除外	順位	除外合計
プロバガンダ	4777	A-35	2.00	6.00	3.00	3.00	1.00	1.00	1.00	17.00	6.00	1	11.00
ナツコ	725	X 35	1.00	1.00	2.00	1.00	4.00	3.50	3.00	15.50	4.00	2	11.50
エキゾティーク	6838	FIRST 35	4.00	4.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	17.00	4.00	3	13.00
スイング	233	Melges 32	3.00	8.00	10.00	4.00	3.00	8.00	7.00	43.00	10.00	4	33.00
アフロス	4417	YOKOYAMA IMS950 MC	8.00	2.00	4.00	9.00	8.00	7.00	9.00	47.00	9.00	5	38.00
エンタープライズ リリ	6655	K-36 SAMURAI	5.00	9.00	12.00	11.00	10.00	3.50	5.00	55.50	12.00	6	43.50
チャーチャン V	6573	FIRST 35	15.00	3.00	7.00	13.00	7.00	6.00	8.00	59.00	15.00	7	44.00
ウインドワード ブイ	6532	FIRST 35	7.00	5.00	6.00	19.00	6.00	5.00	4.00	52.00	7.00	8	45.00
スーパーウェーブ VI	5550	SLOT 31	6.00	7.00	9.00	8.00	9.00	9.00	10.00	58.00	10.00	9	48.00
シーファルコン	6352	X 35	12.00	10.00	5.00	6.00	5.00	14.00	12.00	64.00	14.00	10	50.00
リソターダ	6810	YAMAHA 33S	9.00	13.00	16.00	5.00	11.00	12.00	6.00	72.00	16.00	11	56.00
ポーリアス フォー	5222	FARR 36	20.00	11.00	13.00	12.00	16.00	11.00	11.00	94.00	20.00	12	74.00
シエルボ	6082	FARR 30	10.00	14.00	19.00	10.00	13.00	16.00	13.00	95.00	19.00	13	76.00
シャラク	6812	N/M 30	13.00	19.00	8.00	7.00	17.00	15.00	18.00	97.00	19.00	14	78.00
アケア	5619	J/V 9.6CR	14.00	17.00	11.00	16.00	12.00	10.00	16.00	96.00	17.00	15	79.00
ホライゾン 6	2500	YOKOYAMA 30R MOD	11.00	12.00	15.00	18.00	14.00	20.00	14.00	104.00	20.00	16	84.00
スパークレーシング	6730	C&C 30	16.00	15.00	14.00	14.00	19.00	13.00	15.00	106.00	19.00	17	87.00
ホーネット	5791	SEAM 31	18.00	16.00	18.00	17.00	18.00	18.00	20.00	125.00	20.00	18	105.00
カイト	5870	J/V 35 CR	19.00	18.00	17.00	15.00	20.00	19.00	17.00	125.00	20.00	19	105.00
ブーメラン	5131	J/92	17.00	20.00	20.00	20.00	15.00	17.00	19.00	128.00	20.00	20	108.00